

義より金融資本主義へと進展し、其発展過程に於ける存在の矛盾は、自ら社会  
を否是し崩壊すべき武器を造り、これを使用する一大プロレタリアートをも創造し、  
本主義生産の発展と共に同時に否より以上に急速なる運動に、意識的計画的  
なる暴圧の度を加へつゝある。かくの如き暴圧の真只中に敢然として吾等は経済的斗  
争、政治斗争に躍進の手を續けて来た。

見よ！ 政治的経済的自由、普遍的行を振ふ運動も、競争の犠牲を払ふ逐々に普遍  
を獲得し、深夜業の廢止、海軍に於ける最底賃金法、等々争つて取らば取らざら  
ぬがある。如斯は實に甚なり産業を物語るものがある。

之れ等無産階級運動の突効を奏する上、自作が、ブルジョア支配階級の衰弱崩  
壊が未だ暗未するに同時に、反面又、被圧迫民衆の糧かしの未だ暗未するものと  
云ふべきである。

我々は今や労働条件の維持改善のみにて吾等の使命を完了せざるを得ない。  
此何にして現業の醜態なる資本主義社会より脱して、我々が理想の王国を建設するやに

ある。亦、第一階段こそ、政治的権力の奪還である。

我々は、我等の力に依つて我等自身を解放するに必要なる力を獲得し、此力  
ならぬ。

其力の、それは、政治的権力の行使である。

政治的権力の行使、経済斗争を、より強固な、しめる革命的役割を演ずる故に無産  
階級の政治的行動は、経済的斗争を以ては、其生命線あり得ず。乃ち政治的斗争は  
支配階級に対する民衆の階級斗争に、暴圧を以てする権力を、我等無産階級の平  
奪還掌握と、支配階級に對して所凡社会の立法等に依つて其政勢を向け、他方、大衆  
の経済斗争の助長を促す事と以て、無産階級解放運動の政治的使命である。

今や普遍に依る吾等政治新興勢力が全口的に充実拡大されつつある。過  
る、府議戦に於て、又、衆議院選挙に於て、田中友助内閣の圧迫彈圧の中より、正  
々堂々言辯戦に依る勇戦の戦ひ無産階級の社会的存在を民衆の脳裡に刻み込  
んだ。併し、結果は、吾等が加へたを見たい。